

CYCLE

消費者運動ニュース No.1222 2026年 8月25日

発行所 全大阪消費者団体連絡会

〒540-0026 大阪市中央区内本町2丁目1番19-430

TEL.06-6941-3745 FAX.06-6941-5699

https://osakacon.org/

発行人 全大阪消費者団体連絡会

印刷 株式会社 耕文社

個人購読料 年間 5,000 円 (送料込み・消費税別)

購読料送金先 (口座名・全大阪消費者団体連絡会)

郵便振替口座 00900-9-8320

三井住友銀行天満橋支店 普通預金口座 0969062

近畿労働金庫大阪中央支店 普通預金口座 1161622

大阪IR・カジノ、環境・地盤に深刻なリスク

大阪・南港で7月12日、「第68回自治体学校」の現地分科会が開催された。

「これが夢洲カジノだ!」と題した本分科会では、大阪市民ネットワーク代表の藤永延代さんが、統合型リゾート (IR)・カジノ予定地である大阪湾の人工島「夢洲」が環境と地盤に深刻なリスクを抱え、過大なコスト負担が生じることについて、大阪市大阪港湾局の公開資料に基づき、以下の通り、克明に報告した。その後、参加者はバスで現地視察を行った。

夢洲は有害廃棄物の処分場

夢洲は、もともと危険な汚染廃棄物を封じ込めるための最終処分場だった。

1991年にポリ塩化ビフェニル (PCB) の製造・使用禁止など国際規制が厳格化された際には、変圧器等の絶縁油に含まれる高濃度のPCB廃棄物を集積・保管する危険な拠点にもなった。現在は青森県などで域外処理されているが、汚染物質発生地域外へリスクを転嫁する行政の姿勢には問題がある。

「瀬戸内法」が課す排水制限と財政負担

夢洲周辺は、「瀬戸内海環境保全特別措置法 (瀬戸内法)」で厳格な排水規制が行われている地域に含まれる。夢洲では、現在も地盤沈下が進行しており、汚水が絶えず発生し続ける構造を持っている。一滴の未処理水も大阪湾へ流せない規制下で、基準を満たすように高度浄化処理し続ける難しい作業が求められる。そのコストは、将来に渡って「底なしの財政負担」を招くこととなる。

6,000万トンの泥土への巨大施設開発の無謀さ

IR予定地は、海底から海面に向かって15メート

ルの範囲が6,000万トンの^{しゅんせつ}浚渫土砂で埋め立てられている。通常の「ゴミと土を層状に重ねる」埋立手法とは全く異なる泥ばかりの構造であり、耐震性・地盤安定性が著しく低い。このような超軟弱地盤の上に巨大複合施設を建設・維持することは、建築工学や防災の観点から極めて無謀である。



さきしまコスモタワー展望台からの視察 (写真中央が藤永さん)

市民レベルでの再検証とIR中止を要求

藤永さんは、「汚染物質や廃棄物を封じ込めていた場所」という夢洲本来の危険性を覆い隠したまま、大阪万博を開催し、IR・カジノ計画を進める行政の姿勢を強く批判。安全性の軽視、環境・地盤リスクの放置を許さず、市民レベルで徹底的に再検証し、IR・カジノ計画の抜本的見直しや中止を求めていくことを訴えた。

主な内容

- 大阪IRカジノ、環境・地盤に深刻なリスク ……1
- 子どものスマホ・SNS依存と対峙する ……2~3
- 1.5℃の警告・世界の脱炭素に遅れる日本 ……4~5
- 応能負担に転換し、恒久的な消費税減税を ……6~10
- お知らせ ……11
- 9/12「大阪消団連第34回総会 記念公開講演」
- 9/27「とめよう! 地球温暖化 世界気候アクションin大阪」
- ニュースピックアップ ……12